

令和元年、オープン

厚生労働省

『介護予防、日常生活支援総合事業』の一環

若竹支え合いの家

住民主体の通所型B・ディサービス・富山市モデル事業



発表：代表 七山 政廣

《私たち若竹町の状況》

ともに住んで50年・・・

= 気がついたら、もう終い支度 =

- 現在、若竹町は460戸・約1200人在住。(高齢化率 45%)
= 入居時は500戸、1800人 =
- みんな一緒に家を建て、車を持ち、子供を育て上げ、公民館建設や公園づくりに精を出してきたが・・・。
- 気がついたら子供達は巣立ち、ジジ・ババの『二人暮らし』から『独り暮らし』があたり前になってしまった。
- 人生100年時代、年金だけではとても介護施設にも入れず！

→ では、一体どうすればいいのだろうか？

この街で『終いの棲家』を求めて・・・

地域コミュニティで《自助/共助/公助》 さらに《近助》

《臨終期・最後の3つの階段》

● Step1 『若竹みんなの家』 (現在,6年目)

元気な年寄りが、限りなく《健康寿命》を伸ばすため！
富山市の地域共生《高齢者サロン》第1号として一昨年4月オープン。

● Step2 『若竹支えあいの家』 (令和元年 オープン)

ちょっと先行く人たちが 元気な年寄りが支える！
Step1から、要介護支援1・2等が出た場合の受け皿に。

● Step2 『おらとこ若竹』 (平成28年 誘致)

プロが介護保険で、《小規模多機能ホーム》を開設。
デイサービス、宿泊から看取りまで。地域包括ケアシステムの核に！

3つの Stepが、地域で有機的に連携！

若竹町における地域福祉の歴史

継続的に活動を展開し、今に引き継ぐレガシー

- 2009年(H21) ①若竹カフェ開始 《独り暮らしランチ会》
②若竹朝市 《買い物難民対策》
③かよう会・こがね会 《高齢者の居場所》
- 2014年(H26) ④『若竹みんなの家』開設 《高齢者サロン》
- 2016年(H28) ⑤『おらとこ若竹』誘致 《プロの介護施設》
- 2019年(R1) ⑥『若竹支え合いの家』開設 《デイサービス》



④ 『若竹みんなの家』開設

2014年(H26)4月

- ★高齢者の引きこもり・とじこもり防止
- ★限りなく『健康寿命』を延ばす
- ★介護予防を目指す！



一軒家を借り上げ、富山市の《高齢者サロン》第1号としてオープン！

⑤ 介護ハウス『おらとこ若竹』誘致

★ 地域密着型『若竹方式』の《小規模多機能ホーム》

★ デイサービス、食事・入浴サービス、宿泊預かり他、地域密着型で

2016年(H28)

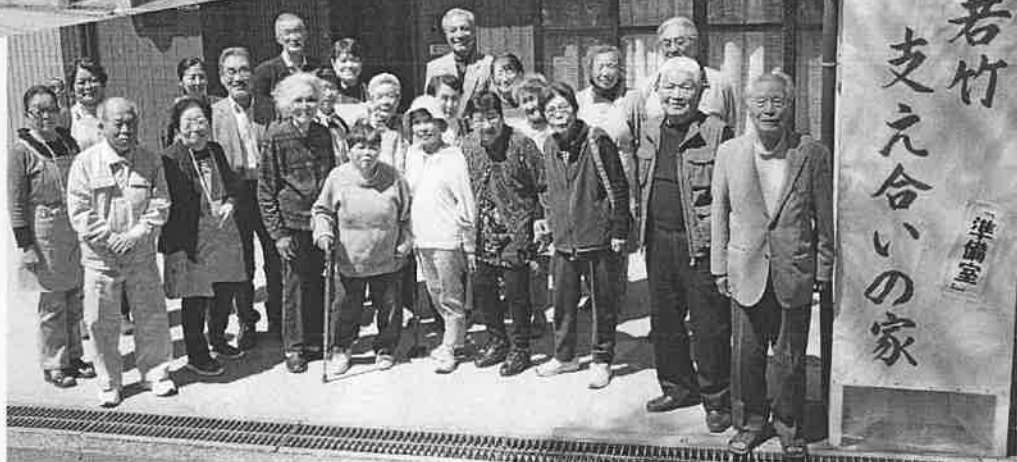


おらとこ若竹
野入美津恵代表



若竹町に念願のプロによる介護施設が出来る！

⑥ 遂に「若竹支え合いの家」 オープンする！ (H31.4月)



足掛け3年の努力が実を結び、利用者7名・ボランティア19名で。

『若竹支え合いの家』(準備室) 昼食会をコアに月2回開催！

月2回、午前11時～午後1時まで、利用料@500円



看護師による血圧測定から↑

